

KSP-POS マーケットトレンドレポート

Vol.25

発行日 2011年7月4日

「節電の夏」ポリドリンク・アイス類の販売状況

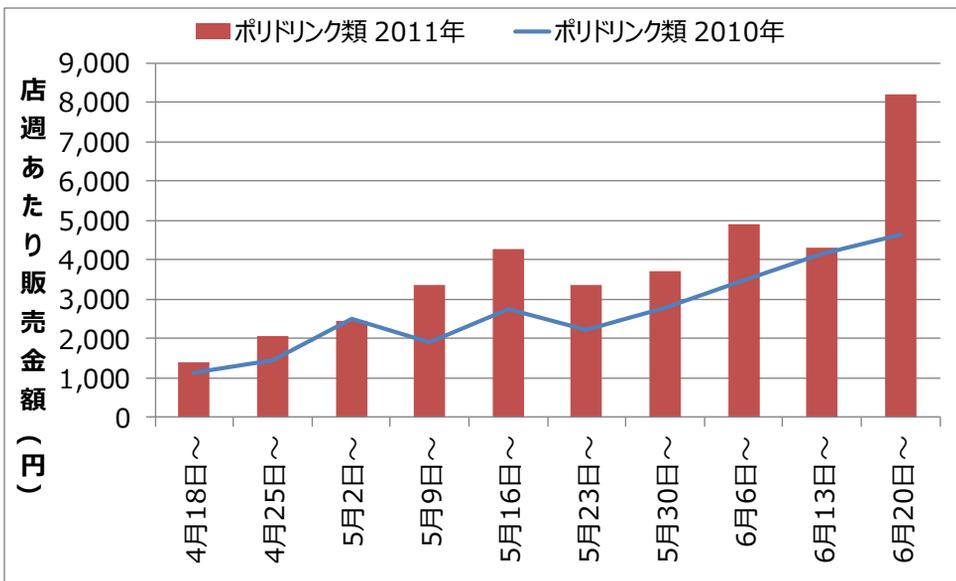
**ポリドリンク類は保冷用訴求によりカテゴリー伸張
アイス類は梅雨時期に減速もメーカーキャンペーンで勢いづく**

株式会社KSP-SPは節電の夏に売れると推定される「ポリドリンク」、
「アイスクリーム類」の販売傾向について調査しました。

ポリドリンク類の販売は増加傾向

首都圏・北関東の食品スーパーにおける4～6月「ポリドリンク類」の販売は前年を上回る状況となっている。

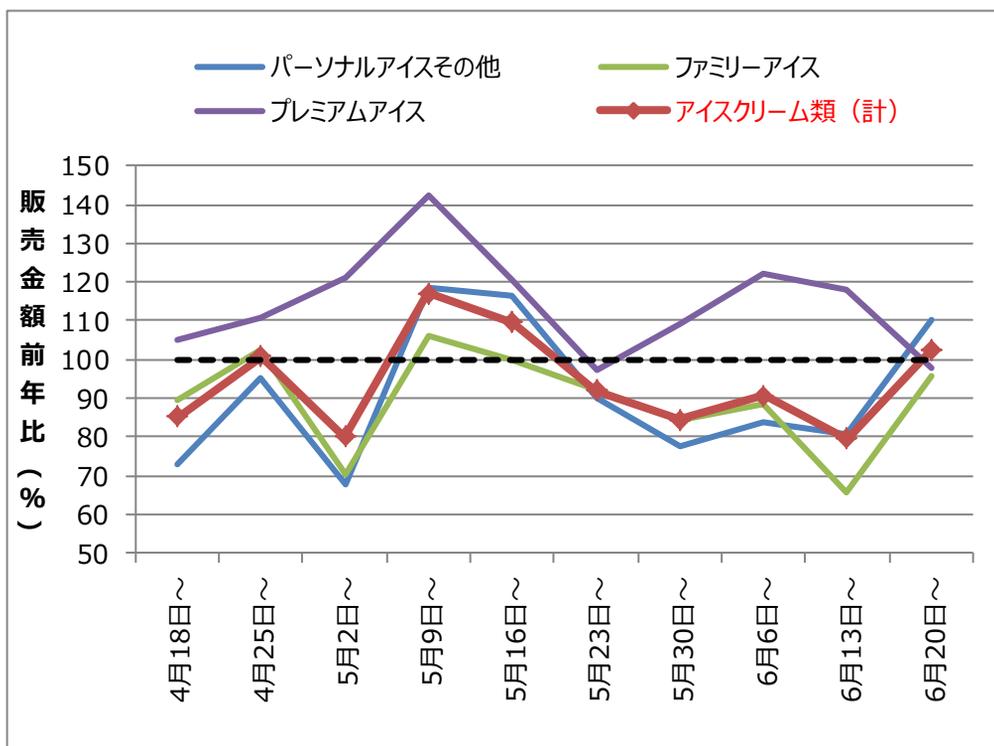
2009年に最大手の前田産業（代表ブランド：チューペット）が撤退し一時的に販売量の減少が見られたが、2011年は震災後の状況において、前年以上の売れ行きを示している。特に、6月20日からの週では1店あたり8,182円で前年比175%と大幅に伸張した。ポリドリンク類は保冷剤の替わりとなるなどの機能面における訴求が行われている。



アイスクリーム類は一時的に減速

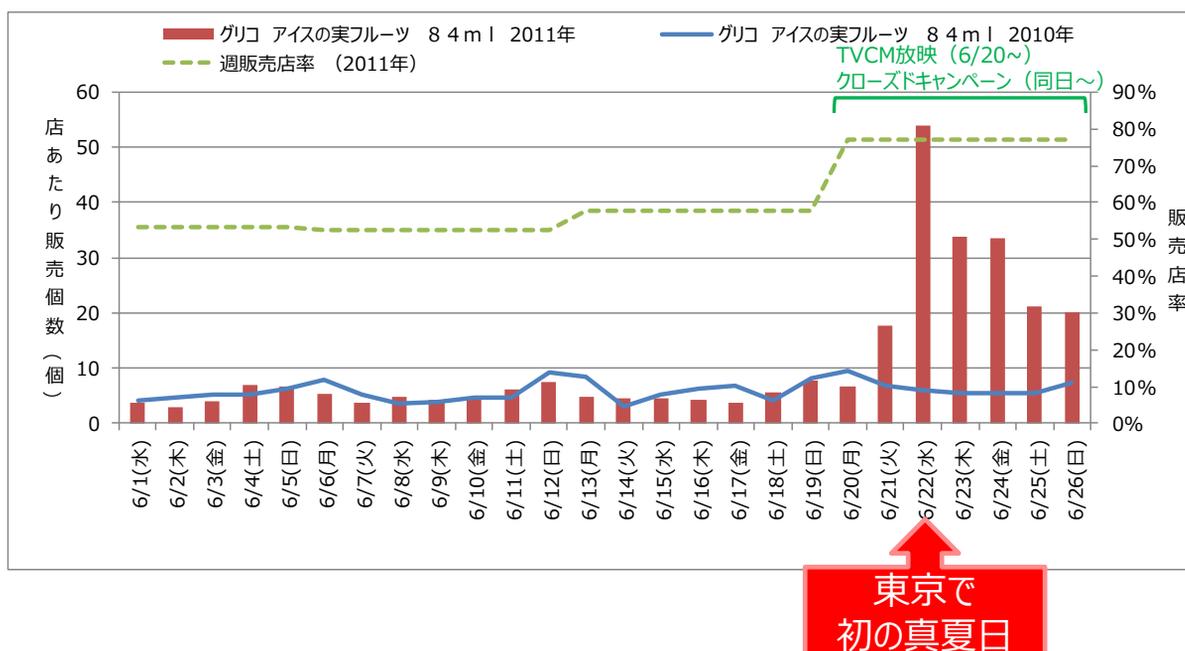
「アイスクリーム類」カテゴリ計の販売金額は、大型連休後に一時的に回復したものの、5月下旬から6月中旬にかけての梅雨により気温があまり上がらなかったこともあり、前年を下回る状況となった。

「パーソナルアイスその他」と「ファミリーアイス」は、気温の影響を受けやすく、カテゴリ計と同様の販売傾向を示している。「プレミアムアイス」は、前年より継続的に価格が低下しているため、既存品の販売が伸張している。



「アイスの実」AKB48キャンペーンにより販売伸張

「アイスの実（江崎グリコ）」は6月20～26日において「パーソナルアイスその他」カテゴリで売上金額1位となった。江崎グリコでは、6月20日から同ブランドを含むアイス商品でクローズドキャンペーンを行っており、TVCM放映開始初日の同日は、時々雨がぱらつく中販売が伸び悩んだものの、22日には東京で今年初の真夏日を記録したこともあり、売上は通常の約10倍へと跳ね上がった。その後も前年を大きく上回る販売傾向となっている。1週間のうちに商品が販売された店の割合を示す週販売店率は、6月初旬の約50%から6月下旬では78%まで上昇し、キャンペーンにより販売店への配荷が増加したと推定される。



KSP-POS 関東「パーソナルアイスその他」販売ランキング (6/20～26)

No	商品名称	販売金額	前週比
1	グリコ アイスの実フルーツ 84m l	2,533,121	789%
2	グリコ ジャイアントコーン08 140m l	2,358,351	296%
3	グリコ パピコ 袋 80m l x 2	2,343,720	354%
4	森永 チョコモナカジャンボ 150m l	1,842,495	140%

調査概要

POSデータ：KSP-POS日次データ

期間：2010～2011年 各年4～6月

地域：関東 約200店舗

* KSP-POSは全国150社約800店舗の食品スーパーから収集した販売情報データベースです。

株式会社KSP-S P

〒105-0013 東京都港区浜松町1-2-1 一光浜松町ビル4階

TEL 03-5472-7650 / FAX 03-5472-7651

<http://www.ksp-sp.com/>